

高館浄水場の浄水発生土の放射能測定結果について

◇名取市高館浄水場で発生した浄水発生土について、東北大学の協力を得て放射能測定を行いましたのでその結果をお知らせします。

○測定結果

・採取日 :平成24年1月12日
・測定分析機関 :東北大学

単位 : Bq/kg

採取物 (発生期間)	放射性ヨウ素 (ヨウ素131)	放射性セシウム (セシウム134)	放射性セシウム (セシウム137)	放射性セシウム (セシウム134+セシウム137)
脱水汚泥 (平成23年12月12日から 平成24年1月10日)	不検出	261	432	693

* これらの浄水発生土については、「平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」等法令及び平成23年6月16日付け厚生労働省健康局長通知「放射性物質が検出された浄水発生土の当面の取扱いに関する考え方について」に基づき適切に保管・処分を行っていきます。

* 水道水について

水道水については3月29日以降、毎週放射能の測定を行っていますが、飲食物摂取制限に関する指標値並びに食品衛生法に基づく幼児の飲用に関する暫定的な指標値を大きく下回っていますので安心して利用いただけます。

尚、詳細については「名取市の水道水における水道水の放射能の測定結果について」をご覧ください。

* 浄水発生土について

浄水発生土とは、浄水場で、取水した原水から水道水を作る過程で取り除かれた原水(ダム水)の濁りや処理に用いられる薬品の沈殿物などを集め天日乾燥や機械処理したもの(高館浄水場は加圧脱水処理)。

◇高館浄水場排水処理棟の官民境界の放射線空間線量は1月13日測定で $0.14 \mu\text{Sv/h}$ と名取市内の通常値と大きく違いがありませんのでお知らせします。

尚、詳細については「高館浄水場放射線量測定結果」をご覧ください。